

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月9日（木） 14:00～14:30
開催場所	西支所2階大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>班長：鈴木 正実 副班長：二階堂 利枝</p> <p>司会：二階堂 利枝</p> <p>報告者：（総務）丹治 誠、（文教福祉）宍戸 一照 （経済民生）二階堂 利枝、（建設水道）三浦 由美子 （複合市民施設に関する調査特別委員会）佐藤 勢 （議員定数に関する調査特別委員会）遠藤 幸一</p> <p>記録者：小松 良行</p>
参加人数	30 人
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和6年5月29日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会1班 班長 鈴木 正実

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月9日（木） 14:30 ~ 15:20
開催場所	西支所2階大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>座長：鈴木 正実</p> <p>司会：二階堂 利枝</p> <p>班員：（総務）丹治 誠、（文教福祉）宍戸 一照</p> <p style="padding-left: 40px;">（経済民生）二階堂 利枝、（建設水道）三浦 由美子</p> <p style="padding-left: 40px;">（複合市民施設に関する調査特別委員会）佐藤 勢</p> <p style="padding-left: 40px;">（議員定数に関する調査特別委員会）遠藤 幸一</p> <p>記録者： 小松 良行</p>
参加人数	30人
意見交換会の概要	<p>1. 報告会の在り方について</p> <p>Q1：消防署や分署、出張所の適正配置の説明があったが、市内の配置状況などは、文章や説明ではわかりにくい。パワーポイントやスライドショーを使って報告してほしい。</p> <p>A1：視覚に訴える方策など、わかりやすい報告の在り方を検討したい。</p> <p>2. 福島駅東口再開発事業について</p> <p>Q1：再開発は大変難航しているようだが、市民センターもできることから、ここは無くてよい。駐車場にでもしたらいいのではないか。</p> <p>A1：ご意見として承る。</p> <p>Q2：「風格ある県都」に対する議員の皆さんの考えをお聞かせください。</p> <p>A2：議会報告会は、議員個人の意見開陳の場ではないのでご理解いただきたい。</p> <p>3. 四季の里活性化について</p> <p>Q1：農村マニファクチャー公園としての構想に基づく発展が、近年は鈍化し果樹農家との連携や集客も減少しており、地区民は将来に不安を感じている。活性化に向けて取り組</p>

んでほしい。

A 1 : 金水晶酒造の進出があり、駐車場の増設も予定されている。また、本年度はリニューアルに向けて現状分析を行い、民間活力導入に向けた調査を実施する。来年は開園30周年を迎えることから、これを契機として基本方針や新たな活用方法も示されることになるため、今後とも様々なご意見をお寄せいただきたい。

Q 2 : 福島ユナイテッドと連携した集客強化策を講じてほしい。

A 2 : ご意見として承る。

4. 市民会館の偕楽亭解体撤去について

Q 1 : 偕楽亭の保存・移築を求める。

A 1 : ご意見として承る。

5. 人口減、税収減時代のまちづくりについて

Q 1 : 駅前再開発によって、本市は将来の債務負担に耐えられなくなる。まちなかに住む住民の利便性を考えて、食料品店やお土産屋、果樹公園やスーパー銭湯など、民間活力で再生すべきであり、将来世代に負担を負わせることなく進めてほしい。

A 1 : ご意見として承る。

6. 荒井地区や佐倉地区の宅地について

Q 1 : 当該地区は住みよい地区だが宅地が少ない。市街化調整区域を見直しし、宅地化を進めるべきだ。

A 1 : 市内全域から市街化調整区域の見直しを求める声は多い。難しい問題だ。都市計画や地区計画を進める中で検討が進められるよう努めて行きたい。

工業団地造成が進められている最中であり、早急な見直しは困難な状況だ。議会としてもコンパクトシティの観点も考慮しながら所管事務調査等で都市計画・市街化調整区域の見直しについて調査検討を進めて行きたい。

7. 市民の健康（減塩）について

Q 1：高血圧、成人病の対策において減塩運動が行われているが、改善が見られない。アピール不足を感じる。

A 1：本市では、PRや理解・周知を進めている。

8. ゴミの問題について

Q 1：市民の意識を高める取り組みの強化に向けて、行政視察の成果を生かしてほしい。教育宣伝を生涯学習や集会の機会を捉えて広報の充実を求める。

A 1：ゴミ2割削減を目指し、特に生ごみを減らす取り組みを強化している。分別の徹底や意識の醸成に努め、理解を深める広報の在り方も検討したい。

Q 2：ゴミ焼却場はパンク状態にはない。ゴミの減量化の数値目標を達成しても単なる議員の票稼ぎになるだけで、カッコつけだ。ゴミが減れば焼却場の売電量も減るのではないか。売電の売り上げやその利活用の現状について市民の理解に努めるべきだ。

A 2：広報の在り方も含め、ご意見として承る。

9. 先達山メガソーラーに関わる土砂災害の危惧について

Q 1：あのように変貌した状況に、自然災害等危機管理上の問題が危惧される。議会はどのように捉えているのか。何かあったら県が責任を取ってくれるのか。

A 1：メガソーラーの開発や管理体制に関し、議会も問題提起をしてきたが、市の業務としては県に対して環境調整に関する意見を添えるに留まり、許可権限を有していない。市議会としては、国に意見書を提出し法整備の強化を求めている。

また、市長が「ノーモアメガソーラ」宣言をし、乱開発防止を対外的にもアピールしている。

10. 荒川、天戸川合流地点の水害対策及び高湯街道の側溝整備について

Q 1：前の豪雨（秋）で田んぼに天戸川の水が流入した。治水対策を強化してほしい。また、高湯街道側溝で通学生徒の転

	<p>落事故も起きているので整備をしてほしい。</p> <p>A 1 : 地区の課題として理解した。ご意見として承る。</p> <p>11. 消防団訓練、練習場の整備と防災センターの整備について</p> <p>Q 1 : 災害が多発する中、消防団の訓練に必要な練習場や防災センターの整備を県と連携して進めてほしい。</p> <p>A 1 : ご意見として承る。</p> <p>12. 議員定数削減について</p> <p>Q 1 : 人口減や市税も減収が続く、議員定数の削減を求めるとともに、若い人の考えを多く汲み取り、もっと議会の活性化を図るべきだ。</p> <p>A 1 : 議会の活性化に向けて努めて行きたい。また、議員定数に関する調査特別委員会を設置し、現在調査を進めているところだ。</p>
--	---

令和 6 年 5 月 2 9 日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 1 班 班長 鈴木 正実

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月14日（火） 18:00～18:28
開催場所	杉妻支所2階会議室
出席議員及び 役割分担	<p>班長：川又 康彦 副班長：石山 波恵 司会：石山 波恵</p> <p>報告者：（総務）二階堂 武文 （文教福祉）半沢 正典 （経済民生）後藤 善次 （建設水道）黒沢 仁 （複合市民施設に関する調査特別委員会）村山 国子 （議員定数に関する調査特別委員会）半沢 正典</p> <p>記録者：高木 克尚</p>
参加人数	12人
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和6年5月24日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 2班 班長 川又 康彦

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月14日（火） 18:30～19:17
開催場所	杉妻支所2階会議室
出席議員及び 役割分担	<p>班長：川又 康彦 副班長：石山 波恵 班員：二階堂 武文 半沢 正典 村山 国子 黒沢 仁 後藤 善次 記録者：高木 克尚</p>
参加人数	12 人
議会報告会の 報告に対する質疑	<p>Q1：福島駅周辺地区への税金投入より、学校給食費への充当を考えるべきではないか。 A1：学校給食のより良い提供に向けた食材費への補填であることをご理解願いたい。</p> <p>Q2：タクシー助成評価するも、ももりんパス上限設定には疑問がある。 A2：税負担の公平性も大切であり、令和7年度実施予定だが上限は確定していない。今後の審査協議によるが、多様な選択肢を含め意見として承る。</p> <p>Q3：デジタル推進は良いことだが、受け手側の実情把握が不足してはいないか。全体像を考慮した上で事業展開すべき。 A3：デジタル推進へ向けた試行錯誤の中にある。クーポン事業は併用型としたが、世帯統一選択の不満については意見として承る。</p> <p>Q4：市内の子ども食堂49カ所は県内の1/3に相当する。食材確保にフードドライブだけでは不足であり、保管場所の経費にも苦勞。市営住宅空き室の子ども食堂転用など、子育て施策の充実を図っていただきたい。 A4：意見として承る。</p> <p>Q5：議員定数を減らすことで生じる不都合を懸念する。削減ありきではなく、全体経費の縮減をめざすべきではないか。 A5：削減目標の特別委員会ではない。市民から削減すべきとの意見もあることから、現時点での適正な定数根拠を検討する。</p> <p>Q6：四季の里コンセプトは何か。 A6：親子で楽しめる施設として、建設時に求められたものと現在の期待に変化が起きている。ビール園撤退はニーズの転換期と捉え、酒・ワインによる誘客など施設の在り方を見直す時期と考える。子供向け施設へのニーズ発掘については意見として承る。</p>

	<p>Q 7 : 議会報告会への市民参加少ないことに驚き。年 2 回の開催は少ないのではないか。</p> <p>A 7 : 多くの方々に知ってもらう努力を続けたい。</p> <p>Q 8 : 福島駅東口喫煙所は不愉快であり、閉鎖すべき。</p> <p>A 8 : 意見として承る。</p> <p>Q 9 : 公会堂が閉鎖され、文化環境が不足。</p> <p>A 9 : 意見として承る。</p>
--	---

令和 6 年 5 月 2 4 日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 2 班 班長 川又 康彦

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月8日（水） 14:30～15:15
開催場所	信陵支所2階大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>座長： 根本 雅昭</p> <p>司会： 山田 裕</p> <p>班員： 小野 京子、尾形 武、 大平 洋人、白川 敏明、 佐原 真紀、浦野 洋太郎</p> <p>記録者： 尾形 武</p>
参加人数	12人（ほか報道2人）
意見交換会の概要	<p>Q1：福島駅東口開発について、第2回市民検討会等でB案にまとめられたが、再検討して欲しい。 A1：ご意見として承る。</p> <p>Q2：町内会集会所の建て替えには多額の費用がかかるが、市からの補助だけでは足りない状態であり、災害時の避難所の対応もされるなど公共的な建物であるため、助成制度の拡大を要望する。 A2：ご意見として承る。</p> <p>Q3：市役所本庁舎の西側に建設中の建物について、4・5階には議場が入ると聞いているが、議会で利用しない日に活用する予定はあるのか。 A3：議会で使用しないときには、他市の事例を検証しながら市民への活用を検討している。</p> <p>Q4：福島駅東口の喫煙所付近はタバコのおいがるが、健康被害の恐れがあり、さらに基準値は安全の指針ではないため屋外にも禁煙を明示すべきであると考えているため、対策をお願いしたい。 A4：現在市で検証しているが、ご意見として承る。</p> <p>Q5：東口駅前の喫煙所について、イベント時だけでも使用禁止の貼り紙を貼る等して禁煙にして欲しいが、喫煙所には反対しているため、即刻使用禁止にして欲しい。 A5：ご意見として承る。</p>

	<p>Q 6 : 現在の市民会館敷地内にある偕楽亭は由緒ある立派な建物であるため、何らかの利活用を要望する。</p> <p>A 6 : ご意見として承る。</p> <p>Q 7 : 今回の議会報告会の資料は立派であるが、市民全員に配るのか伺う。</p> <p>A 7 : より詳しい資料を、議会だよりとして全世帯に配布している。</p> <p>Q 8 : 飯坂電車の泉駅や桜水駅の階段は、昇り降りできない人がいるため、国・県・市で補助してバリアフリーに改良して欲しい。</p> <p>A 8 : バリアフリーは本市でも進めており、優先順位を付けた上で改善しているが、ご要望の箇所についてはご意見として承る。</p> <p>Q 9 : 桜水駅の件は、笹谷地区の自治振興協議会の要望事項として駅舎の改修とエレベーターの設置を要望しているが、長年実現できていない状態であるため、早期実現を要望する。</p> <p>A 9 : ご意見として承る。</p> <p>Q 10 : 本市図書館のあり方について、他市では人が集まりやすい場所で子供が遊べる場所などを設定している事例もあるため、fukushima のイメージアップのためにも工夫して欲しい。</p> <p>A 10 : 図書館については具体的な構想は固まっていない現状であるが、ご意見として承る。</p>
--	--

令和 6 年 5 月 2 7 日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 3 班 班長 根本 雅昭

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	令和6年5月10日（金） 14:00～ 14:30
開催場所	清水支所 大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>班長：沢井 和宏 副班長：高木 直人</p> <p>司会：高木 直人</p> <p>報告者：（総務）渡辺 敏彦 （文教福祉）佐々木 優 （経済民生）七島 奈緒 （建設水道）斎藤 正臣 （複合市民施設に関する調査特別委員会）真田 広志 （議員定数に関する調査特別委員会）斎藤 正臣</p> <p>記録者：菅原 美智子 マイク：石原 洋三郎</p>
参加人数	19人
議会報告会の 報告に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

令和6年5月23日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 4班 班長 沢井 和宏

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開 催 日 時	令和6年5月10日（金） 14:30 ~ 15:30
開 催 場 所	清水支所大会議室
出席議員及び 役割分担	<p>座 長：沢井 和宏</p> <p>司 会：高木 直人</p> <p>班 員：真田 広志・渡辺 敏彦・齋藤 正臣・佐々木 優 七島 奈緒</p> <p>記録者：菅原 美智子 マイク：石原 洋三郎</p>
参 加 人 数	19人
意見交換会の概要	<p>1. イベント開催時の駅前施設について</p> <p>Q1：イベント開催時に、日影や椅子がなく買ったものを食べる人達への気遣いが無いと感じる。駅前のたばこ喫煙所を見直してほしい。トイレについては 広場交番の裏の北のトイレしかないのでイベントに来てくれる人への配慮が欲しい。そうしないと賑わいを作ることは難しいのではないか。</p> <p>A1：日影を作るなど工夫をし、イベントをどう楽しんでいただくか課題。街中交流館の中とアックスビルの下にトイレがあるのを知られていない。今後、イベントを続けていくためにも、トイレの場所等も周知されるようにしていかなければならない。</p> <p>2. 福島駅東口再開発について</p> <p>Q1：福島市民全員が関心を持たなければならない。数多くの意見を聞いたうえで進めなければならないと思う。事業費が高騰している。限られた財源の中で事業を進めているのを理解しないといけない。むしろ足りない部分を市民側ももう少し協力して、クラウドファンディング等で市民が協力できるようなことを議会で取り上げられないか。</p> <p>A1：5月1日の全員協議会において、最新の説明が議員に報告された。保留床処分金がどの程度になるか、まだ示されていない。議案として提出されたのち妥当性が見えるように議論になる。議論を見守ってほしい。</p> <p>Q2（意見）：街に出て、いつまでも皆さんと交流して若々しく保ちたい、医療費を使わない、介護費をつかわないわいようにしたいと思っているが、福島市に行くところがない。福島街をもっと考えてほしい。</p> <p>Q3：とても不思議に思えるのは県都の顔であるのに、もっとランドデザインをしっかりと欲している。地権者だけで、できるとかできないかで議論をしているのはおかしい。</p> <p>A3：東口、西口 JR を中心とした県都福島市のランドデザインを市は考えている。</p> <p>Q4（意見）：市民の声を聞いているのはパフォーマンスでしかない。クラウドファンディングは必要であれば取り組むのもいいと思う。市民が納得するいいものを作ってほしい。</p> <p>Q5（意見）：駅東口、西口ある商業スペースは撤退する店がある。開発事業についてもホテルが入らない、アパレル会社が入らないのに「莫大なお金をかけて作り上げてから失敗でした」では本当に困る。子どもが遊ばせられる施設や学生が集まる場所があれば活気が出るのではな</p>

	<p>いか。福島は何もないという観光客がいる。残念だ。</p> <p>A5： ご意見として伺う。</p> <p>Q6： 西口のイトーヨーカードーが撤退する。東口、西口が寂しくなる。県都の名が廃れる。市では何か案があるのか。</p> <p>A6： 市としては白紙である。</p> <p>Q7（意見）： 県都福島がどうなってしまうのか未来が見えないのが不安。東も西も予測できる状況が見えてくるまで更地そのままでもいいのではないか。性急にことを決めずもっと長い目で見る事が必要だと思う。</p> <p>3. ももりんシルバーパスポートについて</p> <p>Q1： 高齢になると免許返納が目の前にあり、バスの事業については町内会でも大変喜んでいる。運転ができなくなり、バスを利用するにも本数が少なくタクシーの併用利用も助かる。タクシー併用になると予算は倍になるのではないかと思われるが、これまでの3年間の経費とこれからのタクシーの予算を裏付けとしてどれくらいなのか聞きたい。マイナンバーカードの利用は時期尚早ではないか。利用可能な方法を考えてほしい。</p> <p>A1： マイナンバーカードを使うことに抵抗があることについて理解する。総務省が提唱しているようにマイナンバーカードを持ち歩くのは安全である、ということに理解を求めることが必要。suicaの導入も考えられるが、バス会社がこのシステムを導入する場合、非常に大きな経費が掛かるので今は無理であるとの回答があったと聞いている。</p> <p>Q2： シルバーパスポートについて、年間30%の方が使用しているというが一人当たりの平均額はいくらになるのか。また、一人2万円の限度額の根拠について知りたい。</p> <p>A2： 平均で4,000円程度でなかったか。公平性に欠けるところから見直し論が始まったものである。20,000円の上限を設ける事については、当局からは、同様の事業をしている自治体を参考にしたとの説明があった。タクシーに補助が傾くとバスの運営が危うくなるとの見解があり配慮したものであると聞いている。</p> <p>Q3： ももりんシルバーパスポートのタクシー利用分を年間40,000円から50,000円に増やして欲しい。20,000円の上限を見直してほしい。</p> <p>A3： 実績の数値について令和3年度と4年度のものをお伝えする。令和3年度が1億4,100万円余3,303枚発行している。令和4年度1億4,300万円余4,900枚発行している。</p> <p>Q4： ももりんシルバーパスポートの基本的内容は、年齢を重ねても元気な高齢者を増やす事と「街に大いに出かけてください」という意味ではなかったか。</p> <p>A4： 3月議会で議論を重ねて委員会としてシステム改修費用等について承認したものだ。</p> <p>4. 少子高齢化社会対策について</p> <p>Q1： 国の異次元の少子化対策は子育てや子どもが増える政策には感じられない。若い女性が県外に出ないような工夫が必要だ。進学しやすい学校や若者が働きやすい環境を作ってほしい。給料が上がらないと人生設計がしづらい。20代の若者が未来を想像できるような支援をしてほしい。</p> <p>昔ながらの仲人のネットワークを作って、若者が結婚してからの支援の充実を図ってほしい。3人目が生まれたときに1,000万円くらいのお祝い金を支給してはどうか。また第3子が生まれたときに空き家になっているところを市が購入し割安で賃貸にするような仕組みを作ってはどうか。</p> <p>昔と違い子どもの具合が悪くなると迎えに来てくれと職場に連絡が来</p>
--	---

	<p>るが、子どもの具合が悪くなくても働きやすい支援をしてほしい。</p> <p>A 1：福島市も子育てと教育で選ばれる街を目指している。これからも具体的な取り組みをしていくよう働きかけていく。</p> <p>Q 2（意見）：市民も政治に積極的に参加して欲しい。行政も市民の声を聞きたいという発信をもっとしてほしい。自分の事のように市民も考えるのではないか。</p> <p>5. 農業振興と産業振興について</p> <p>Q 1（意見）：福島市は農業産業が発展していかなければならない。温泉観光、インバウンド、SDGsの観点からも福島市は魅力的な場所である。奥ゆかしい文化をもっている福島市であるからこそ産業構造を磨き上げて所得もあげて将来の街づくりをしてほしい。</p> <p>6. たばこの喫煙所について</p> <p>Q 1（意見）：駅前にたばこの喫煙所があるが横を通ると胸が苦しくなる。子どもたちもたくさん通る場所なのになぜ福島駅前に喫煙所を作ったのか。疑問である。</p> <p>7. 給食センターについて</p> <p>Q 1（意見）：福島方式の給食センターを作るのに疑問である。時代錯誤の考えかたに見える。</p> <p>8. 偕楽亭保存について</p> <p>Q 1（意見）：偕楽亭保存の活動をしている。福島は素晴らしい土地である。若い人達にも世界が注目している福島を知ってほしい。</p> <p>Q 2（意見）：この報告会の参加数を増やす工夫をしてほしい。市民の声が届かないのではないか。わかりやすい議会と住んでいる人が楽しいと思えるような街であってほしい。</p> <p>9. 行政視察報告について</p> <p>Q 1：市議会の行政視察の結果を見たい、映像を使って説明して欲しい。</p> <p>A 1：視察報告は議会事務局に提出し、ホームページで公開している。</p> <p>10. デジタル化推進について</p> <p>Q 1（意見）：ペーパーレス政策では生きていけない人がいる事を理解して欲しい。</p>
--	--

令和6年5月23日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 4班 班長 沢井 和宏